

# こころる便り

第286号  
令和6年1月

〒679-1434  
兵庫県たつの市新宮町大屋六六八十二  
株式会社 新宮運送グループ  
代表/木南 一志  
kirimami@shingu.co.jp  
電話 079-1-75-1212



新宮運送ホームページ

## 思いがあるか

まさかの正月元旦からの大地震でした。弊社のタンクローリーも翌日の納品に向けて北陸道を運行中でしたので、緊急ニュースに慌てました。おかげさまでその車両は無事に事なきを得たのですが、能登半島や北陸地方は以前からご縁がある多くの友人たちがおられて、いちいち確認を取りませんでした。ほぼ連絡も取れて無事を確認できました。

このたびの災害で被災された皆様、大切な方を亡くされた皆様に衷心よりお見舞い申し上げます。

こうした大災害が起きると、被災地に向けて緊急支援物資を輸送するという任務がいつもやってきます。今回は兵庫県トラック協会の副会長という任もあつて、いち早く情報が飛び込んできました。そこで緊急連絡網で問い掛けたところ、何人ものドライバーが「自分が行きます」と手を挙げてくれました。「自分の家族が被災したらと考えると、じっとしておれない。」と素早く対応してくれました。弊社から15トンウィング車2台と西播通運さんから15トン車1台で、三木市の県防災センターと川西市の浄水場から水と食料、毛布、ブルーシートなどを石川県志賀町役場に向けて届けること

になりました。地震発生から24時間以内に出発するのは阪神淡路大震災以来のことです。あの時はパトカー先導で現地に入りました。緊急ですからできるだけ早くということをお願いするのですが、事故があつては何にもありません。まして、道路事情が通常ではないのですから、情報が必要です。日頃、LINEでやり取りをしている山元加津子さんのグループで問い掛けたところ南砺市の片山孝志さんが朝早くから現地へ来てくださり、確認をしてトラックを道案内したうえに荷卸しまでお手伝いくださいました。

ドライバーの心意気もそうですが、助け合うという精神でつながることでもこんなにも大きな力になるかと思える年初の対応でした。携帯を枕元に置いて、私も緊張した一晚となりました。

まだまだ余震が続いて、被災地は大変です。緊急車両が通れないと助かる命も助けられませんが、一歩譲りながら、救助のプロがいち早く現地で活動できるように応援できる一人でありたいと思います。

消防、警察、自衛隊、関連各方面の皆さんに感謝します。どうかよろしくお願ひします。

被災地にこころを寄せながら

木南 一志 拜

## 尋常小學國史 上巻

### 第十 和氣清麻呂②

清麻呂神の教を申し上

清麻呂の忠義

姉廣虫

清麻呂の宇佐に行かんとせし時道鏡清麻呂に向ひわれ汝に高き官位を授くべければ我がためによくはからふべしといひて之をいざなへり。されど清麻呂は忠義の志深く、おのが出世のために其の志をかふる如き人にあらざれば宇佐よりかへりてわが國は國の初より君と臣との別明かに定まれり。決して臣を以て君とすることなし。無道のもの早く之を除くべし。と神の教をば少しもはかることなく申し上げたり。道鏡大いに怒りて清麻呂を大隅に流し、なほ途中にて之を殺さしめんとせしが、たましく雷雨はげしくして果さず。清麻呂は幸にして其の難をまぬかれたり。程なく九代光仁天皇の御代に、道鏡は下野におひやられしが清麻呂は召しかへされ、第五桓武天皇の御代に至るまで朝廷に仕へてます。忠義をつくし、重き役に用ひられたり。今京都の護王神社にまつらる。わが國の臣民たるものは、皆清麻呂の心を以て其の心となさざるべからず。

清麻呂の姉廣虫も、まごころを以て朝廷に仕へたてまつり、弟と仲よかりしかば、人々感じ合へり。清麻呂の流されし時廣虫も備後に流されしが、また清麻呂と共に召しかへされたり。廣虫はつゝしみ深くして、かつて人のかげ口をいひたることなく、又なさけ深く、棄兒を拾ひ集めて、育てあげたる數八十餘人に及びたりといふ。今廣虫も護王神社に合はせまつらる。

NPO法人 愛ランド様の協力で障害を持つ皆さんが宛名貼り、封入作業をしてお届けさせていただいております。